

2026年1月21日(水)

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆IMF、2026年の世界成長率3.3%に引き上げ AI投資で米国堅調

・国際通貨基金(IMF)は2026年の世界経済の成長率見通しを3.3%と、前回の25年10月時点から0.2ポイント上方修正した。人工知能(AI)投資の加速を反映して米国の見通しを引き上げた。トランプ米政権の関税政策による減速懸念は和らいでおり、世界の成長率は24~25年と同水準になる見通し。

◆1人あたり労働時間、2024年は1661.5時間 コロナ禍除き過去最も短く

・内閣府が公表した国民経済計算によると、2024年の雇用者1人あたりの労働時間は前年から16.4時間減って1661.5時間だった。新型コロナウイルス禍の20年を除くと、比較可能な1994年以降で最も短くなった。ピークの96年の1914.8時間からは250時間超減。減少は2年ぶり。実際の過去最低はコロナ禍での就業調整が増えた2020年で1659.7時間。

◆25年の訪日客、初の4000万人超 国交相が公表

・金子恭之国土交通相は閣議後の記者会見で2025年の訪日外国人客数が4270万人程度になったと明らかにした。24年の3687万人を上回り過去最多となる。訪日客の消費額はおよそ9.5兆円で、インバウンド消費が日本経済のけん引役を担っている。消費額は過去最大だった24年の8兆1257億円を上回った。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆大規模オフィスや商業ビル建築、CO2排出で説明義務 28年度にも

・国土交通省は2028年度にも、大規模オフィスや商業ビルの設計者に対し、発注者への二酸化炭素(CO2)排出量に関する説明を義務付ける。建設から解体に至るまでのCO2排出量を算出し、どうすれば削減できるかなどを説明してもらう。木材などの利用や脱炭素に役立つ設備の活用も促す。

◆12月の中古戸建て流通、成約・在庫件数とも増加 価格は3ヶ月ぶり下落

・東日本不動産流通機構は首都圏における2025年12月度の中古住宅流通動向を公表。中古戸建ては成約・在庫件数ともに増加したが、在庫件数の増加率は縮小が続いている。中古マンションは成約単価の上昇が続く中、在庫件数は減少傾向が続いている。成約件数は1859件で前年同月比59.0%増、2024年11月から14ヶ月連続の増加となった。

◆電力の容量市場、29年度平均単価は最高の1.3万円 総額も2.2兆円に

・経済産業省の認可法人である電力広域的運営推進機関は電力小売りなどが4年後に必要な電力を確保するための発電所投資費用を負担する容量市場に向け、6回目の入札結果を公表。2029年度の負担総額は2兆2094億円で、1キロワットあたりの平均単価が約1.3万円とそれぞれ過去最高だった。物価高などで応札価格が上昇した。

« 注目商品 »

■シャープ、プラズマクラスター空気清浄機「Purefit」

・さまざまなシーンに“フィット”する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機「Purefit(ピュアフィット)」シリーズのリビング向け新製品を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用し、広い吸い込み面積を確保。



■パナソニック アラウーノにオート開閉標準搭載で25.9万円

・全自動おそうじトイレ「アラウーノ S160 タイプ1K」は、便ふたの「オート開閉機能」を標準搭載。一般的なオート開閉機能付きのタンクレストイレよりオート開閉なしと同価格の25万9000円で設定。従来のタンクレストイレよりも約10万円安い設定。



■DAIKEN、乾太くん専用台にダークグレー柄を追加

・ガス衣類乾燥機「乾太くん」の専用収納ユニット「かわいたな」にダークグレー柄を追加。リンナイ製の乾太くんを設置する専用の木製台。本体を壁・床と固定し、天板と乾太くんとを固定する仕様により地震や乾燥時の振動に配慮。3種類ある高さどれを選んでも一律価格。

